

金木犀の甘い香りが漂う中、静岡市の賤機山の麓にある臨濟寺を訪ねました。10月に予定されている秋の特別公開について伺ってまいりました。

臨濟寺(山号:大龍山)は今川家の菩提寺で、徳川家康が竹千代時代に人質として預けられていたことでも有名なお寺です。通常は修行僧の道場となっているため一般の拝観ができませんが、年に2回だけ特別公開日としています。春の公開は5月19日の今川義元公の命日、秋の公開は10月15日の摩利支天祈禱会の2回です。本堂や無想庵など見所も多く、一度訪れてみてはいかがでしょうか。



①

1



②

2

賤機山を背景に佇む由緒ある寺院「臨濟寺」(写真①)
境内に入るとまずは正面に山門があります。(写真②)



③

3



④

3

山門の両側には元々静岡浅間神社にあったという仁王像が安置されています。向って左には「臨濟寺
専門道場」(写真③)、右側には「臨濟宗妙心寺派」と表示されています。(写真④)



⑤

[6](#)



⑥

[5](#)

左側は吽形像(写真⑤)、右側は阿形像(写真⑥)です。



⑦

[7](#)



⑧

[8](#)

山門をくぐり抜けて石段(写真⑦)を登りますと正面に本堂が現れます。(写真⑧)



⑨

[9](#)



⑩

[10](#)



⑪ [11](#)



⑫ [12](#)

境内の様子(写真⑨⑩⑪⑫)



⑬ [13](#)



⑭ [14](#)

境内では金木犀が甘い香りを漂わせます。(写真⑬) 遠方に静岡市の中心街が一望できます。(写真⑭)



⑮ [15](#)



⑯ [16](#)

境内入口の右側には通用門があります。(写真⑮) 入口左側と通用門右側には蓮池があります。(写真⑯)

※今回掲載の写真は特別公開日でもなくても撮影可能なものです。

【秋の特別公開】

10月15日(月) 10:00~15:00 入場無料 写真撮影可
見どころ→庭園(国の名勝)、無想庵(茶室)、竹千代手習いの間、今川家・徳川家ゆかりの宝物類など

取材: 静岡地区担当 生きがい特派員 竹内 章